

病院名		平成19年度バランス・スコアカード(実績)						
理念		明日を担う子どもと家族のために、安心・信頼・満足の得られる医療と支援を行う。						
平成21年度に目指すべき姿		一般病院では対応が難しい障害児医療、小児慢性・難治性疾患に対し高度専門的な医療を提供し、地域に信頼される病院を目指す。 子どもの心の病気や発達障害など、今日的な医療ニーズに対して貢献できる病院を目指す。 県内の障害児医療、小児慢性疾患医療などの拠点病院として、地域医療機関と緊密なネットワークを構築する。						
区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H19 目標値	H19 実績値	H21 目標値	アクションプラン実績
顧客の視点		患者満足度の向上 医療安全の徹底 地域信頼度の向上 情報公開の推進	患者サービスの向上 医療事故の未然防止 地域との連携強化 県民信頼度の向上	患者満足度調査の評価値 (4点未満の項目数) ヒヤリ・ハット事例分析・検討会の実施回数 リスクマネージャーの確保 紹介率 登録医数 小児医療セミナー開催回数 ホームページアクセス数 (月あたり件数)	16/51項目 12回 2人 30人 2回 6,000件	16/52項目 12回 2人 - - 6,550件	全項目 4以上 12回 2人 - 2回 7,000件	・8月6日～10日、外来・入院で実施 ・月1回事例分析を実施 ・看護部より全国自治体病院協議会等の研修に参加 ・受診予約の改善 ・広報紙発行(3回) ・検討を行ったが登録医制度の発足には至らなかった ・未実施 ・更新回数118回
財務の視点		経営基盤の安定化 収益の確保 費用の削減	収益性の向上 収益の確保 費用の削減	医療収支比率 病床利用率 新規入院患者数 診療収益に占める材料費の割合 診療収益に占める経費の割合 後発医薬品の採用品目数	86.0% 70% 1,420人 25.7% 24.1% 72品目	93.2% 73.2% 1,405人 20.9% 25.9% 72品目	91.0% 75% 1,520人 25.5% 23.7% 85品目	・入院収益増加、薬品費減少 ・整形外科を中心に入院患者の増加 ・眼科患者数の減少により減 ・薬品費を中心に材料費を削減
内部プロセスの視点		診療体制の充実 医療の質の向上 医療の標準化 経営体制の確立	専門医療の充実 有能な人材の確保 医療の質の向上 医療の標準化 クリティカルパスの推進 目標管理の徹底	整形外科手術件数 専攻医の受け入れ人数 病院機能評価の自己評価結果 (評価Cの項目数) クリティカルパス作成件数 平均在院日数 BSCモニタリングの実施回数	450件 4人 15項目 25件 17日 4回	549件 2人 9項目 12件 18.1日 2回	470件 4人 0項目 35件 17日 4回	・公募により2名採用 ・機能評価委員会を開催(2回)
学習と成長の視点		職員の意識改革の推進 人材育成の充実	改善意識の向上 職場風土の活性化 職員のスキルアップ 医療サービスの向上	「病院長との対話」実施回数 経営改善提案採用数 研修計画による研修の実施回数 (全体研修) 院内報告会の開催回数 専門医等の育成人数	5回 3 10回 1回 1名以上	- 1 8回 - 3名	- 4 12回 1回 1名以上	・「病院長との対話」に代えて「職員提案箱」を設置(提案2件) ・入院収益増につながる提案を1件採用 ・新人研修、感染管理研修、医療安全研修、接遇研修等を実施 ・各部署単位で実施された ・小児救急認定看護師1名、整形専門医1名、精神専門医1名